

環境審議会委員からの御意見等に対する対応

整理 番号	該当箇所 (ページ)	委員からの御意見等	対 応
1	5	<p>地域個体群の区分について、白山・奥美濃地域個体群と北近畿東部地域個体群の境界線が、旧西浅井町と余呉町の境ではなく、長浜市と高島市の境になっているので、修正が必要である。</p>	<p>図を修正します。</p>
2	8	<p>限定的なデータに対して強い仮定を置いて生息個体数の推定値の算出を行っているようであり、実際の生息個体数との整合の検証はできないことから、推定値の妥当性の説得力は弱いと言わざるを得ない。</p> <p>生息個体数の推定値は、保護管理の施策を決定していくにあたっての根幹となる情報であることから、推定手法のアップデートも検討された方がよい。</p>	<p>ご指摘のとおり、推定値の算出にあたっては限定的なデータしか得られていないところですが、個体数の増減の把握にあたり、従来手法による推定だけではなく、空間明示型の手法による推定も並行して行い、両方の手法の推定結果を踏まえて顕著な増減はなく横ばい傾向にあると判断しています。</p> <p>推定手法のアップデートは重要であると考えており、階層ベイズモデルの導入の検討を行っていきたいと考えています。</p>
3	33	<p>種子の供給源となる広葉樹が周囲に存在する場合や萌芽更新が行われる場合などには、大規模伐採のうえ自然の遷移にゆだねた管理を行うことも有効であるが、スギ・ヒノキ林を大規模に伐採して広葉樹林に誘導する場合には、広葉樹の苗の植栽が必要になる。</p>	<p>必要に応じて、広葉樹の苗の植栽も行っていきたいと考えているところですが、計画上は「など」の中で読むこととし、原文どおりとさせていただきます。</p>

整理 番号	該当箇所 (ページ)	委員からの御意見等	対 応
4	36	<p>錯誤捕獲した個体は原則として殺処分できるよう出 没対応マニュアルを検討いただきたい。</p> <p>奥山での錯誤捕獲に当たっては、ドラム缶檻をその場 所まで運搬することは困難であり、場面に応じた対応を 検討いただきたい。</p>	<p>環境省の基本指針において、事業実施者は安全な放獣 に努めること、錯誤捕獲した個体は外来種や害獣を除き 原則として放獣することとなっています。集落等から一 定の距離がある奥山においては、錯誤捕獲された個体を 殺処分するという対応は認められていません。</p> <p>なお、出没対応マニュアルについては、集落近くなど で、人身被害が発生するおそれがある場合の錯誤捕獲対 応について、今後一部内容の見直しを検討します。</p>
5	36	<p>移動放獣をすることによってクマの分布域を広げて しまうことになる恐れもあり、錯誤捕獲個体を全て殺処 分したとしても年間捕獲上限に達しない年もあるため、 錯誤捕獲個体の殺処分について検討できないか。</p>	<p>錯誤捕獲された個体の移動放獣に当たっては、錯誤捕 獲地点の近傍の奥山に放獣することになるため、そのこ とに伴い分布域が拡大することはないと考えています。</p> <p>ツキノワグマが錯誤捕獲された場合は、原則として放 獣することになりますが、人の安全を最優先とし、集落 近くなどで、人身被害が発生するおそれがあるときは、 状況に応じて捕殺を行うことも今後検討していきたい と考えています。</p>

整理 番号	該当箇所 (ページ)	委員からの御意見等	対 応
6	38	オスによりコグマが殺される状況があるため、最短で2年に1度生まれるコドモのうち、成獣までの生き延びるものは50%を越えないというのが現場からの実感である。そのため、1年にどのくらい増えるのかということも予測して対応いただきたい。	現状の個体数推定のモデルでは、個体群の成長率の算出をすることはできませんが、現在成長率の算出も可能なモデルの検討を行っており、現場感覚との整合の確認なども将来的に行っていきたいと考えています。
7	38	滋賀県は異なる地域個体群の中継地点という重要な地域であるからこそ、個体数の把握だけでなく、それぞれの地域個体群の遺伝的な情報についても定期的に把握するなどの対応も重要になってくるのではないかと。	モニタリング調査に当たっては、ヘアトラップによる体毛の採取とそのDNA分析による個体識別を行っているため、どの地域個体群の系統の個体であるかについても分析することは可能ですが、今後その対応の必要性を含めて検討してまいります。
8	36	普及啓発について、人の行動に効果的に働きかけるに当たり、クマが出た地域には一定期間立て看板を立てるなど対応が、実効的な手法であると考えている。	市町における出没情報の周知に当たっては、選択可能な手法は状況により異なるものの、市町の判断においてホームページへの掲載や防災無線での発信等をいただいているところであり、看板を立てることについても奨励したいと思います。